

こうべ森林シンポジウム 登壇者プロフィール



◎丑丸 敦史 (神戸大学 国際人間科学部人間発達環境学研究科 教授)

京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了。博士（理学）取得。専門は植物生態学および生物多様性科学。被子植物と送粉昆虫の相互作用や半自然草地の植物や昆虫の多様性などを中心に研究を行い、進化による生物多様性の創出過程や人間活動による草原の生物多様性の維持機構や喪失のプロセスを解明することを目的としている。里山林の伐採による草原の創出が多様性維持に貢献していることを示すための研究に取り組んでいる。



◎山田 隆大（一般社団法人やまとた 代表理事）

元神戸市役所農業専門職。2025年に「一般社団法人やまとた」を立ち上げ、遊休農地を活用した農業経営とともに、農業と里山管理の両方を学ぶスクールや都市住民が共同で農業・里山活動に参加するクラブ活動を実施している。その他にも空き家を利用した交流拠点、ニュータウンにおける菜園などを計画しており、都市部から農村部への心理的距離を埋めるための入り口を増やすことを目指している。



◎武野 辰雄（淡河バンブープロジェクト 代表）

2019年から神戸市北区淡河町で、里山管理としての竹林整備を目的に、食材としての竹、道具としての竹、農業資材としての竹の利活用に取り組む。小さな経済活動を多方面に展開し、マルシェでの販売や卸売りそしてイベント企画を行っている。



◎黒田 慶子（神戸市 副市長）

京大大学院農学研究科を修了後、農林水産省に入省。森林総合研究所の研究員、神戸大学大学院の教授として、森林の研究に長く携わってきた森林環境保全の専門家。2024年1月より神戸市副市長に就任し、現在は特に、森林の保全と資源循環というテーマのもと、SDGsに関わる政策立案から実施までを担当。